

次号予告

特集 学習障害

学習障害とは何か……………国療東京病院付属リハ学院 鷺田孝保
 学習障害における神経学的要因……………お茶の水女子大学 水野倂一
 学習障害児への感覚統合訓練の実際……………関東通信病院 斉藤祐子
 北九州市立総合療育センター 渡辺直美
 はまぐみ学園 佐藤ヨシイ

学習障害児へのOTアプローチ（アメリカでの現況）

……………米国在中 佐藤剛

<資料>「学習障害」関連文献

とびら 我が身を抓られて他人の痛さを知る……………国療東京病院付属リハ学院 鷺田孝保

講座 関節のモビライゼーション 2. 四肢関節のモビライゼーション……………のじぎく療育センター 森下孝夫

……………近畿リハ学院 宇都宮初夫
 心理学シリーズⅠ 発達心理(2)

行動統制機能の発達……………筑波大学 高野清純

……………CP児の早期発見……………のじぎく療育センター 金原宏之
 リハビリテーション・インフォメーション<神奈川県>

……………川崎心障センター 谷島朝生・他
 養成校紹介 金沢大学金沢医療技術短大……………田川義勝・他

編集後記

好景気に沸き返った年は遠く、減速経済の中で物質文明から心の豊かさへ見直しが始まっている昨今、国際障害者年がすべり出しました。はやくも中味のない上すべりの一年にしないよう、お祭りさわぎで終ることのないようにと関係者から声があがっています。

さて今月号は、我々の究極の目的とも言える重度障害者のリハビリテーションを特集に挙げ底辺にある問題をさらって見ました。

まず、東大の上田先生に重度障害者のリハビリテーションの位置づけとそれをめぐるいくつかの問題を述べていただきました。次で教育関係で、養護学校義務化に基づく重度化問題について、国立特殊教育総合研究所の高杉先生にお書き戴き、最終ゴールの能動的な社会参加への手段として重度障害者の保護雇用について、ゼンコロの調先生に、心身障害者雇用促進法から見た重度障害者の就労について、身障雇用経営研究所の野田先生に筆をとっていただき

ました。重度化すればするほど障害者にとって場あたりのなコマ切れサービスは効果が上らず、一貫したサービスを提供する上からも障害者のトータルライフプランニングについては考えられなければなりません。

この点について兵庫県身体障害者更生相談所の黒田先生にまた障害者の自立に対して福祉先進国に見る総合施策について参考資料として、東京都立心身障害者福祉センターの長田先生に解説していただきました。

心理学シリーズおよび最近耳新しい関係モビライゼーション（モビライゼーション）について、第一線の先生方による執筆が始まります。どうぞお楽しみに。

精神科作業療法では症例報告が、理学療法では「頸髄損傷患者の呼吸管理について」投稿原稿が掲載されています。

投稿原稿も徐々に増えつつあり編集員一同喜んでおりますが、なお一層日頃の仕事をまとめて、各分野で活躍しているPT・OTに刺激をあたえて下さるようお願い致します。（大喜多 潤）

<編集顧問>

天児民和
 九州労災病院名誉院長
 五味重春
 埼玉県生活福祉部
 砂原茂一
 国立療養所東京病院名誉院長
 津山直一
 東京大学教授・整形外科
 水野祥太郎
 川崎リハビリ学院院长
 （五十音順、以下同じ）

<編集委員>

上田敏
 東大リハビリ部
 荻島秀男
 リハビリテーションペ
 イン（痛み）クリニッ
 クわらび診療所
 大喜多 潤
 兵庫県リハビリセンター
 寺山久美子
 都心身障害者センター
 富岡詔子
 山梨下部病院
 奈良 勲
 金沢大学医療技術短大
 福屋靖子
 筑波大学
 松村 秩
 都養育院リハビリ部

<編集同人>

安達克巳
 池田俊雄
 伊東元夫
 宇都宮初夫
 大丸幸翼
 鎌倉矩子
 紀伊克昌
 木村信子
 駒沢治夫
 佐藤 馨
 嶋田智明
 鈴木明子
 関 昌家
 高橋正明
 中屋久長
 橋元 隆
 藤沢しげ子
 矢谷令子
 山下隆昭
 （担当 細田・西塚）